

建設工事に係る「最低制限価格」の設定基準の改正について

音更町においては、設計金額が500万円以上の工事に係る競争入札を行う場合には、最低制限価格制度を適用しています。

このたび、当該制度における設定基準を改正し、令和4年4月1日以後に指名通知又は公告を行う工事から適用することとしましたのでお知らせします。

改 正 前

【設定基準】

最低制限価格は、予定価格の10分の7.5から10分の9.2までの範囲内で、次に係る額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額とする。

- (1) 直接工事費の額に10分の9.7を乗じて得た額
- (2) 共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額
- (3) 現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額
- (4) 一般管理費の額に10分の5.5を乗じて得た額



改 正 後

【設定基準】

最低制限価格は、予定価格の10分の7.5から10分の9.2までの範囲内で、次に係る額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額とする。

- (1) 直接工事費の額に10分の9.7を乗じて得た額
- (2) 共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額
- (3) 現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額
- (4) 一般管理費の額に10分の6.8を乗じて得た額